



11月13日 串間中3年が本市の活性化に向けた提言を行う

串間中学校は地域の活性化策などについて学ぶ「くしま学」の授業に取り組んでおり、その一環で同中学校3年生が、学習したことを本市に提言などを行う「くしま未来議会」が串間市議会本会議場で行われました。5つのグループの代表者が教育、まちづくり、工学エネルギーなどそれぞれ5つのテーマについて市当局に提言。本市への修学旅行誘致のため、地元特産品の完熟さんかん「たまたま」の収穫体験を含めた体験型修学旅行の実施や、自然エネルギーを活用したさらなる発展に向けて、洋上での風力発電所建設などさまざまな提案が出されました。堺梓姫さんは「緊張したが議場の雰囲気を変えてとてもいい経験になった。提案した体験型修学旅行の誘致をぜひ実現してほしい」と話していました。



活性化に向けたアイデアを提案する中学生



質問に対して関係課長が答弁を行いました

11月15日 都井で「共助」の仕組みづくりはじまる



“さんぽ”をしながら避難場所や危険箇所の確認を行いました

本市では住民が主役となり共に支えあう「共助」の仕組みとして地域連携組織の設立を目指しています。そのうち「都井地区地域連携組織設立準備委員会」が、防災を柱とする地域課題の解決に向けた取り組みの第1弾として、迫地区で「防災さんぽ」を実施しました。地元住民約80人が参加して、実際に避難場所の確認や危険箇所の点検を行いました。その後都井支所で、市危機管理課から非常持ち出し袋の作り方の紹介と、医療介護課から「災害に備える筋力づくり」と題した講話もあり、住民は防災と健康の意識を高めるとともに非常時の「共助」の大切さを学びました。

10月31日～11月4日 園児が描いた力作並ぶ



作品に見入る来場者

園児が描いた絵画の作品展「串間市認定こども園・保育園作品展」が市文化会館で行われました。会場には市内の認定こども園・保育園に通う3～5歳児の絵画約400点が展示され、多くの家族連れらが訪れていました。作品は家族や動物、乗り物など、園児たちの豊かな感性あふれる絵が描かれていました。わが子の作品を見ようと訪れていた原田和彦さんは「猫の絵がうまく描かれていた。今後もすくすく育てほしい」と話していました。

11月7日 レスリング元日本王者が小中学生指導

市内でジュニアレスリングを指導する「くしまグリーンホース」は8日までの2日間、合同強化練習会を福島高校体育館で行いました。アジア選手権や全日本選手権などを制覇した元レスリング選手の泉武志さんを講師に招き、県内の小中学生約50人が指導を受けました。泉さんは実際に動き方を見せながら、守りに重点を置いた指導などを行い、児童たちは日本トップレベルの技の習得に励んでいました。福島小学校6年生の川崎堅心くんは「今回覚えた技を試合で使えるように練習していき強くなりたい」と話していました。



児童に熱心に指導する泉さん

11月12日 建設業協会女性部が市道沿いをボランティア清掃



手分けして除草作業に取り組む女性部の皆さん

串間市建設業協会女性部は、ニシムタ串間店前や串間中学校前の交差点などの市道上町鍛冶屋線沿いでボランティア清掃を行いました。同部は通行量の多い市道沿いをきれいにしようと、2015年から毎年実施しており、今回は部員14人が参加してスコップや鎌などを使用し、歩道と車道間に生えた雑草を取り除いていました。谷口直美部長は「気持ちよく通行してもらえたらうれしい。今後も地域貢献活動を続けていきたい」と話していました。